

第29回{ 防災・にぎわいなど広場分科会 }メモ R4年2月1日(火) 10時～11時30分 商工会館5F会議室

座長：A 大西賢治 (道玄坂まち協)

委員：町会・商店会+街づくり団体 (イタリックは前回委員交代)

1. 本間誠 (中央街) 2. 菅野英雄 (宮益) 3. 喜山日出信 (道玄坂) B.竹花光政 (桜丘まち協) C. 小林幹育 (東地区まち協)

リモート参加①鈴木達治 (センター)

欠席：①上田一雅 (宮益町) ②川原恵 (公園通) ③永井良明 (渋地下) ④大野武 (東口町) ⑤百瀬義貴 (宮下パーク) ⑥和田 (渋三協)

配布資料

1. 議事次第 2. 名簿 3. 座席表 4. 第28回 防災・にぎわいなど広場分科会 (R3/11/22) 議事要旨

5. 主要広場空間等の計画について **資料1** 6. 主要広場空間等の検討の進め方 **資料2**

開催の経緯：新型コロナ・オミクロン株に依る感染拡大があり 開催前日まで対面方式を基本に、感染状況に依ってはリモート方式での開催、あるいは中止に、など混乱し、事前欠席連絡者が多く出た。又、初めてリモート方式も採用された。

1. 前回第28回議事の確認：議事録にて各自行う事。

2. 主要広場空間の計画について 区担当者が**資料1** **資料2**を、パワーポイントを利用して順次説明。

注目点：P2下部の「本日」コラム中の(4)西口地下広場、(5)西口上空広場は今回初出で、本日のメイン議題。

資料1 主要広場空間等の計画について

説明：事務局(区) P1～P10：これまでの回の纏め

質疑：P1～P10に関する意見

①喜山委員

A；バス乗降者について：P6のハチ公広場の図で、バス乗降者の動線を濃い灰色太線で示しているが、この図示はおかしい。バス乗降者は、原稿では黄色(コピーでは薄灰色)で示す「広場から歩行者動線を除いた実際の滞留空間」を通らないと乗降が出来ない事から、「実際の滞留空間」とはならず、本当の「滞留空間」はずっと小さくなってしまふ。(濃い灰色太線は、バス乗車客の待機列とでも言う場所を示すに過ぎない。)また、ハチ公を置く様に考えられている広場としての「滞留空間」を確保する為には、歩行者動線としっかり分ける必要がある。

B；交番の位置について：P8,P9の図を見ると、位置として現状の場所とほぼ同じと思われるが、区の計画ではJR改札横に東西の広場を繋ぐ通路が作られると聞く。完成後は人流の多くはそこを通ると考えられ、現状の北側道路の利用者が激減する筈。交番について、位置というより向き(ハチ公広場のみならず、東西通路も見る事が出来る様)を考えるべきではないか。

C；スクランブル交差点の横断歩道の位置変更について：横断歩道毎ではなく、交差点が作られた経緯からも、交差点全体を面として考えるべきと思う。(会終了後の気付き：109②の前に地下街との階段がある。ちょっと不便かも。)

②小林委員：P8,P9で交番が駅ビルから飛び出て置かれている様に見えるが、出っ張っているのか？ それは変ではないか？

③菅野委員：①のハチ公像の概ねの位置候補、③のスクランブル交差点の形状に付いては、概ね、こんなものと思う。

④竹花委員

A；①のハチ公の位置や向きは、地元でも検討して来たが、この案で良いと思う。

B；②の交番の位置だが、駅ビルから出っ張っているのは不便ではないか？

C；③のスクランブル交差点の形状だが、交差点が小さくなるのはどうなのか？ こんな物なのか？

⑤大西座長：ハチ公の位置やスクランブル交差点のあり方は大事な問題だ。デザイナーを入れてとの考えは無いのか？

A.区；デザイナーを入れて進める。

⑥鈴木委員(WEB参加)：新ハチ公広場に作る観光案内所の位置も示して欲しい。

説明；事務局（区）P11～P23

P11：東口広場+ハチ公広場と合わせ検討。

P12：JR 駅ビル中央棟北先端部は、JR の協力で3F をにぎわいの空間に変え、そこに予定された JR 空間を地下に移動。

P13：0 字階段とアーバンコア大階段は纏める事も。

P14～23：本日の主題＝西口広場（P14～16；考え方 P17～19；地下広場＝東横西館地下跡利用 P20～23；上空広場＝大屋根設置）

質疑：P11～23 についての意見

⑦本間委員；11 月の「調整協議会」で上空広場を拝見したが、意見は次回ということだった。コロナ禍ではあるが中央街理事事を 3 回開催し集約した意見を述べたい。

P19：「西口地下広場」は街にとっても良いと思うが、20m 幅通路から地下へ北に直行するアプローチを希望したい。

P20：「西口上空広場」は先々代の理事長頃から”地上から空が見える”よう要望して来たが、この案では難しい様だ。フクラスと JR 駅間の扱いは受け入れるということになったが、南側の部分は受け入れがたい。

P22；右上図の駅寄り緑ラインの通路は必要性が理解できない。南北通路はフクラス・JR 駅間は既にある。

246 号による分断ではあるが、桜丘と一体になって街を考えて行きたい。

⑧竹花委員；2010 年に 246 号の低い位置での駅と桜丘との横断を求めていた。「西口上空広場」大屋根で街が暗く見えるのではないか？ この図面（P20・21）を見ながら改めて考えてみたいので意見は控える。

⑨小林委員；P12 の JR 中央棟先端部から地上へ直接降りる方法が無い。“のんべい横丁へ渡ってから地上に”との話が有った筈なのに言及が無いので再度言及したい。

⑩本間委員；バス停を覆う大屋根は不要ではないか？ フクラス一階は中央部までバス停なので、既に覆っている形だ。

A. 東急；バス停の大屋根について、P20 右図の楕円の北側はバス停が有るので覆いたい。同南側は地下との斜路なので屋根は無い。

⑪喜山委員；P13 の「アーバンコア大階段の動線」は、模型の形だと現状の大階段で塞がれていて拙い。街へ出て行く気分を高める為にも、視覚的にもセンター街方向に開いていくべきだ。

P21・22「西口上空広場」は 3 階のフラットな広場と地上を狭い階段で繋ぐ様に見える。P21 左上図で、フラットな広場を階段状に設えている例示が有るが、事業者が舞台付広場を作りたいというなら、折角の地形上・構造上の段差を利用して、京都駅大階段やローマ劇場の様な階段状の広場を考えて欲しい。スクランブル交差点は人の動きで世界的な名所となっているが、固定された建築物として世界から人を呼べる上空広場にして欲しい。

⑫大西座長；桜丘と 246 号線と中央街の関係は大切だ。公園通りが作られた時、道玄坂が危機感を持ったと同様だ。ハチ公広場で道玄坂は永くイベントを遣って来たが、「西口上空広場」も役立つだろう。来街者目線で考えて行くべきだ。

⑬喜山委員；P13 図の JR 駅に付属する 0 字階段とアーバンコア大階段は一体化出来ないか。0 字階段は駅の避難施設で取れないと思っていたが、至近に同様の施設が作られるなら、統合できるのではないか。

A. 東急；前回から統合を考え始めた。

⑭喜山委員；統合の可能性が有るなら、更に進めて、現状の大階段を新大階段裏に取り込めば、動線問題は元より、ハチ公広場の景観の整序ばかりか、溜りの空間も取れて、一石二鳥、三鳥となるのではないか。

資料 2 主要広場空間等の検討の進め方

区；進め方について、意見交換を重ねて、来年度 9 月までに施設整備の方向性について確認して行きたい。

⑮大西座長；桜丘に行き易いものを中央街と共に考えて行きたい。

日程について

区；2 月に『検討委員会』を開催する。それを受けて 3 月には『広場分科会』、『調整協議会』も開催したいが、コロナ禍でもあり、状況に依って調整する。